

ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第15期(決算日2019年4月10日)

作成対象期間(2018年4月11日～2019年4月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年3月26日から2024年4月10日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。 銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主な投資対象	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配 金	期中 騰落 率	期中 騰落 率	期中 騰落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
11期(2015年4月10日)	18,419	600	7.8	193.37	16.5	97.6	—	1,597
12期(2016年4月11日)	17,578	600	△1.3	179.15	△7.4	94.4	—	1,470
13期(2017年4月10日)	19,664	750	16.1	210.83	17.7	96.1	—	1,543
14期(2018年4月10日)	20,019	600	4.9	230.04	9.1	97.9	—	1,758
15期(2019年4月10日)	20,542	650	5.9	246.72	7.3	98.3	—	1,664

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2018年4月10日	20,019	—	230.04	—	97.9	—
4月末	20,268	1.2	235.33	2.3	96.6	—
5月末	20,484	2.3	239.00	3.9	96.8	—
6月末	19,793	△1.1	237.75	3.4	96.4	—
7月末	20,431	2.1	244.58	6.3	97.0	—
8月末	20,676	3.3	249.17	8.3	98.6	—
9月末	20,588	2.8	250.67	9.0	97.0	—
10月末	19,096	△4.6	230.23	0.1	98.1	—
11月末	19,793	△1.1	234.23	1.8	98.2	—
12月末	18,349	△8.3	214.18	△6.9	96.6	—
2019年1月末	19,840	△0.9	230.38	0.1	97.4	—
2月末	20,886	4.3	239.54	4.1	98.2	—
3月末	21,034	5.1	241.41	4.9	98.0	—
(期末)						
2019年4月10日	21,192	5.9	246.72	7.3	98.3	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
11期(2015年4月10日)	21,971	800	18.9	258.35	27.8	97.4	—	10,114
12期(2016年4月11日)	18,981	750	△10.2	219.03	△15.2	98.2	—	7,314
13期(2017年4月10日)	21,369	900	17.3	261.90	19.6	98.0	—	6,831
14期(2018年4月10日)	21,869	700	5.6	287.66	9.8	98.5	—	6,397
15期(2019年4月10日)	23,126	750	9.2	318.89	10.9	99.2	—	6,334

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2018年4月10日	21,869	—	287.66	—	98.5	—
4月末	22,509	2.9	299.23	4.0	97.0	—
5月末	22,429	2.6	300.27	4.4	96.8	—
6月末	21,937	0.3	302.38	5.1	96.4	—
7月末	22,837	4.4	313.72	9.1	97.9	—
8月末	23,108	5.7	319.81	11.2	98.6	—
9月末	23,523	7.6	328.76	14.3	97.0	—
10月末	21,616	△1.2	299.76	4.2	98.1	—
11月末	22,510	2.9	306.42	6.5	98.2	—
12月末	20,453	△6.5	274.68	△4.5	97.8	—
2019年1月末	21,920	0.2	292.32	1.6	98.6	—
2月末	23,504	7.5	308.98	7.4	98.2	—
3月末	23,640	8.1	311.07	8.1	97.6	—
(期末)						
2019年4月10日	23,876	9.2	318.89	10.9	99.2	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

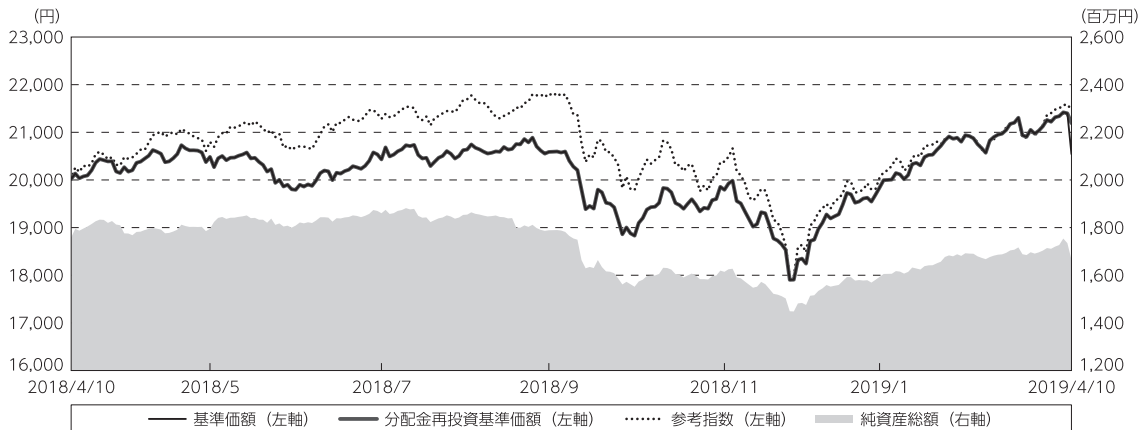
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：20,019円

期末：20,542円 (既払分配金(税込み)：650円)

騰落率： 5.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2018年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2018年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首20,019円から期末20,542円となりました。

(上昇)

- ・2018年11月、米中間選挙がほぼ市場予想通りの結果となり、目先の不透明感が和らいだこと、年末商戦が好調な滑り出したこと、FRB(米連邦準備制度理事会)が早期利上げ打ち止めを観測したこと、英政府とEU(欧州連合)が離脱案で合意したこと。
- ・2019年1月、市場予想を上回る米雇用統計が発表されたこと、米中貿易協議の進展が期待されたこと、FRBが金融引き締めに慎重な姿勢を表明したこと、中国の景気対策期待が高まったこと。

<Aコース>

- ・ 2月、米中貿易協議が進展したこと、米政府機関の再閉鎖回避への期待が高まったこと、トランプ米大統領が対中関税の引き上げ延期を表明したこと、ECB（欧州中央銀行）の新たな資金供給策が期待されたこと。

(下落)

- ・ 2018年6月、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが決定されたこと、金融引き締めスタンスの継続が強調されたこと、米中貿易摩擦への懸念が強まったこと。
- ・ 10月、米長期金利が上昇したこと、米中貿易摩擦への警戒感が増したこと、イタリア予算案を巡る同国とEUとの対立長期化への懸念が増したこと、ユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）速報値が市場予想を下回るなど景気の先行き不透明感が高まったこと。
- ・ 12月、カナダ当局による中国通信機器大手企業の幹部逮捕などを受け米中貿易摩擦懸念が再燃したこと、米景気減速への警戒感が増したこと、FOMC後に米国の利上げペースが市場予想ほど鈍化しないとの観測が高まったこと。

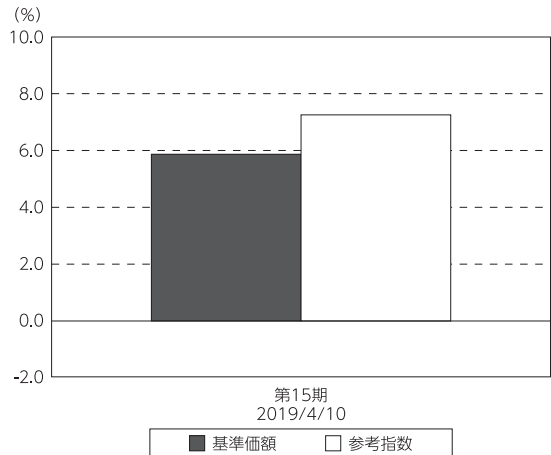
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）の7.3%の上昇に対し、基準価額は5.9%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）とは異なった動きをしております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり650円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第15期
	2018年4月11日～ 2019年4月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	650 3.067%
当期の収益	650
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,541

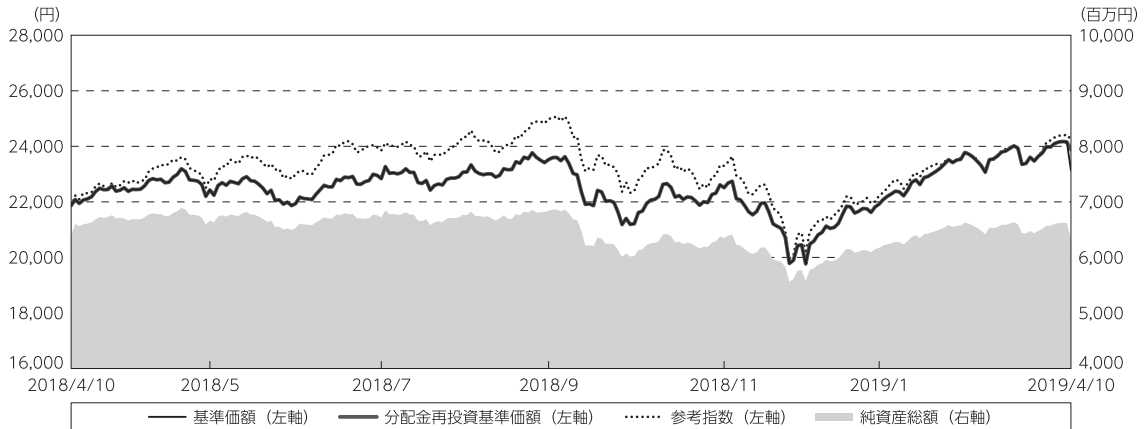
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：21,869円

期末：23,126円 (既払分配金(税込み)：750円)

騰落率： 9.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2018年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。参考指数は、作成期首(2018年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首21,869円から期末23,126円となりました。

(上昇)

- ・ 2018年11月、米中間選挙がほぼ市場予想通りの結果となり、目先の不透明感が和らいだこと、年末商戦が好調な滑り出したこと、FRB(米連邦準備制度理事会)が早期利上げ打ち止めを観測したこと、英政府とEU(欧州連合)が離脱案で合意したこと。
- ・ 2019年1月、市場予想を上回る米雇用統計が発表されたこと、米中貿易協議の進展が期待されたこと、FRBが金融引き締めには慎重な姿勢を表明したこと、中国の景気対策期待が高まったこと。

<Bコース>

- ・ 2月、米中貿易協議が進展したこと、米政府機関の再閉鎖回避への期待が高まったこと、トランプ米大統領が対中関税の引き上げ延期を表明したこと、ECB（欧州中央銀行）の新たな資金供給策が期待されたこと。
- (下落)
- ・ 2018年6月、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが決定されたこと、金融引き締めスタンスの継続が強調されたこと、米中貿易摩擦への懸念が強まったこと。
- ・ 10月、米長期金利が上昇したこと、米中貿易摩擦への警戒感が増したこと、イタリア予算案を巡る同国とEUとの対立長期化への懸念が増したこと、ユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）速報値が市場予想を下回るなど景気の先行き不透明感が高まったこと。
- ・ 12月、カナダ当局による中国通信機器大手企業の幹部逮捕などを受け米中貿易摩擦懸念が再燃したこと、米景気減速への警戒感が増したこと、FOMC後に米国の利上げペースが市場予想ほど鈍化しないとの観測が高まったこと。

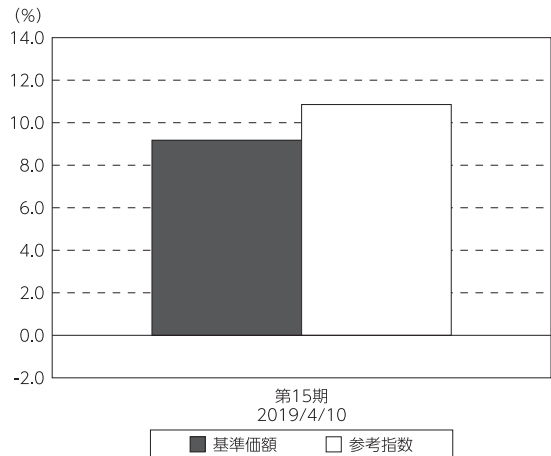
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の10.9%の上昇に対し、基準価額は9.2%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしています。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり750円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第15期
	2018年4月11日～ 2019年4月10日
当期分配金	750
(対基準価額比率)	3.141%
当期の収益	750
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,125

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

世界株式市場は、年末にかけ米中貿易摩擦が深刻化するという懸念が高まり大きく下落しました。年初からは、米中貿易摩擦の緩和期待やFRBの金融政策緩和期待、中国の景気刺激策に対する期待が高まったことを背景に大きく上昇し、期を通じては上昇となりました。

為替市場では、期を通じて、円は米ドルに対して概ね下落（円安）、ユーロに対して上昇（円高）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔ワールド・ウォーター・ファンド Aコース〕および〔ワールド・ウォーター・ファンド Bコース〕は、主要投資対象である〔ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

〔ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド〕

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行うことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリング」と「上下水道ビジネス」を中心に投資しました。
 - ②「装置製造・エンジニアリング」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却した一方で、不安定な市場環境の中でも利益成長が期待できる企業に投資しました。
 - ③先行き不透明な環境が続く中で、ディフェンシブ（景気に左右されにくい）性の高い「上下水道ビジネス」の組入比率を高位に保ちました。
 - ④米国の汚染制御機器などの株式を組み入れたほか、米国の電子計測機器メーカーなどの株式を買い増しました。一方で、日本の住宅関連用品製造会社などの株式を売却したほか、日本の農業用機械製造会社などの株式を一部売却しました。

<Aコース/Bコース>

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

世界のマクロ景気は世界の経済成長の不透明感により揺るがされています。グローバル企業の2019年の利益成長は、2018年の増益ペースに比べ減速すると予想されていますが、グローバルでのGDP成長率見通しは2018年並みの水準とされています。そのため、企業の価格決定力に対して引き続き確信を持っており、足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは割安な投資機会を与えるものと考えます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行う水関連銘柄のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

こうした環境の中、引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用を行っていきます。

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年4月11日～2019年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 369	% 1.836	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(195)	(0.972)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(152)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(22)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.025	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(5)	(0.025)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.012)	
(d) そ の 他 費 用	11	0.052	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(9)	(0.046)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.003)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	387	1.925	
期中の平均基準価額は、20,103円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2018年4月11日～2019年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 65,827	千円 289,700	千口 127,880	千円 577,500

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2018年4月11日～2019年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,611,062千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,988,567千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.45	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月11日～2019年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Aコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
為替先物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 6,799	百万円 14	% 0.2

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 2,230	百万円 8	% 0.4

平均保有割合 20.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Aコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	432千円
うち利害関係人への支払額 (B)	2千円
(B) / (A)	0.6%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2019年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 408,520	千口 346,467	千円 1,647,246

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千円 1,647,246	% 92.4
コール・ローン等、その他	135,802	7.6
投資信託財産総額	1,783,048	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（7,792,654千円）の投資信託財産総額（8,233,752千円）に対する比率は94.6%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.20円、1カナダドル=83.40円、1英ポンド=145.10円、1スイスフラン=111.19円、1スウェーデンクローナ=12.01円、1デンマーククローネ=16.77円、1ユーロ=125.20円、1香港ドル=14.18円、1ウォン=0.0975円、1リアル=28.85円、1チリペソ=0.1674円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,333,271,010
コール・ローン等	68,387,390
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	1,647,246,417
未収入金	1,617,637,203
(B) 負債	1,668,474,216
未払金	1,564,712,772
未払収益分配金	52,678,470
未払解約金	36,323,913
未払信託報酬	14,732,933
未払利息	187
その他未払費用	25,941
(C) 純資産総額(A-B)	1,664,796,794
元本	810,438,002
次期繰越損益金	854,358,792
(D) 受益権総口数	810,438,002口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,542円

(注) 期首元本額は878,650,529円、期中追加設定元本額は129,455,939円、期中一部解約元本額は197,668,466円、1口当たり純資産額は2,0542円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額57,082,556円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2018年4月11日～2019年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 23,898
支払利息	△ 23,898
(B) 有価証券売買損益	120,148,481
売買益	244,473,137
売買損	△124,324,656
(C) 信託報酬等	△ 31,569,260
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	88,555,323
(E) 前期繰越損益金	207,082,793
(F) 追加信託差損益金	611,399,146
(配当等相当額)	(478,513,032)
(売買損益相当額)	(132,886,114)
(G) 計(D+E+F)	907,037,262
(H) 収益分配金	△ 52,678,470
次期繰越損益金(G+H)	854,358,792
追加信託差損益金	611,399,146
(配当等相当額)	(479,010,299)
(売買損益相当額)	(132,388,847)
分配準備積立金	242,959,646

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2018年4月11日～2019年4月10日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年4月11日～ 2019年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	23,230,915円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	65,324,408円
c. 信託約款に定める収益調整金	611,399,146円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	207,082,793円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	907,037,262円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	11,191円
g. 分配金	52,678,470円
h. 分配金(1万口当たり)	650円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	650円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年4月11日～2019年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 413	% 1.836	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(219)	(0.972)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(170)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(24)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.026	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(6)	(0.026)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(3)	(0.012)	
(d) そ の 他 費 用	12	0.052	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(11)	(0.047)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	434	1.926	
期中の平均基準価額は、22,498円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2018年4月11日～2019年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 100,471	千円 442,240	千口 264,457	千円 1,200,400

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2018年4月11日～2019年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,611,062千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,988,567千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.45	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月11日～2019年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	B/A		百万円	D/C
株式	百万円 1,380	百万円 -	% -	百万円 2,230	百万円 8	% 0.4

平均保有割合 79.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Bコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,664千円
うち利害関係人への支払額 (B)	10千円
(B) / (A)	0.6%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2019年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	1,494,306	1,330,320	6,324,875

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	6,324,875	95.8
コール・ローン等、その他	274,706	4.2
投資信託財産総額	6,599,581	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(7,792,654千円)の投資信託財産総額(8,233,752千円)に対する比率は94.6%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.20円、1カナダドル=83.40円、1英ポンド=145.10円、1スイスフラン=111.19円、1スウェーデンクローナ=12.01円、1デンマーククローネ=16.77円、1ユーロ=125.20円、1香港ドル=14.18円、1ウォン=0.0975円、1リアル=28.85円、1チリペソ=0.1674円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,599,581,402
コール・ローン等	81,706,040
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	6,324,875,362
未収入金	193,000,000
(B) 負債	265,419,276
未払収益分配金	205,426,605
未払解約金	2,722,746
未払信託報酬	57,168,873
未払利息	223
その他未払費用	100,829
(C) 純資産総額(A-B)	6,334,162,126
元本	2,739,021,406
次期繰越損益金	3,595,140,720
(D) 受益権総口数	2,739,021,406口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,126円

(注) 期首元本額は2,925,469,149円、期中追加設定元本額は218,606,069円、期中一部解約元本額は405,053,812円、1口当たり純資産額は2,3126円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額57,082,556円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2018年4月11日～2019年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 54,111
支払利息	△ 54,111
(B) 有価証券売買損益	657,250,095
売買益	693,894,327
売買損	△ 36,644,232
(C) 信託報酬等	△ 119,253,449
(D) 当期損益金(A+B+C)	537,942,535
(E) 前期繰越損益金	849,736,910
(F) 追加信託差損益金	2,412,887,880
(配当等相当額)	(1,303,214,761)
(売買損益相当額)	(1,109,673,119)
(G) 計(D+E+F)	3,800,567,325
(H) 収益分配金	△ 205,426,605
次期繰越損益金(G+H)	3,595,140,720
追加信託差損益金	2,412,887,880
(配当等相当額)	(1,303,999,016)
(売買損益相当額)	(1,108,888,864)
分配準備積立金	1,182,252,840

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2018年4月11日～2019年4月10日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年4月11日～ 2019年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	96,941,551円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	441,000,984円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,412,887,880円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	849,736,910円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	3,800,567,325円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	13,875円
g. 分配金	205,426,605円
h. 分配金(1万口当たり)	750円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	750円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

運用報告書

第15期（決算日2019年4月10日）

作成対象期間（2018年4月11日～2019年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式 組入比率	株式 先物比率	純資 産額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
11期(2015年4月10日)	36,405	21.0	258.35	27.8	98.8	—	11,547
12期(2016年4月11日)	33,267	△ 8.6	219.03	△15.2	98.9	—	8,665
13期(2017年4月10日)	39,761	19.5	261.90	19.6	98.7	—	8,290
14期(2018年4月10日)	42,766	7.6	287.66	9.8	98.6	—	8,137
15期(2019年4月10日)	47,544	11.2	318.89	10.9	99.3	—	7,972

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

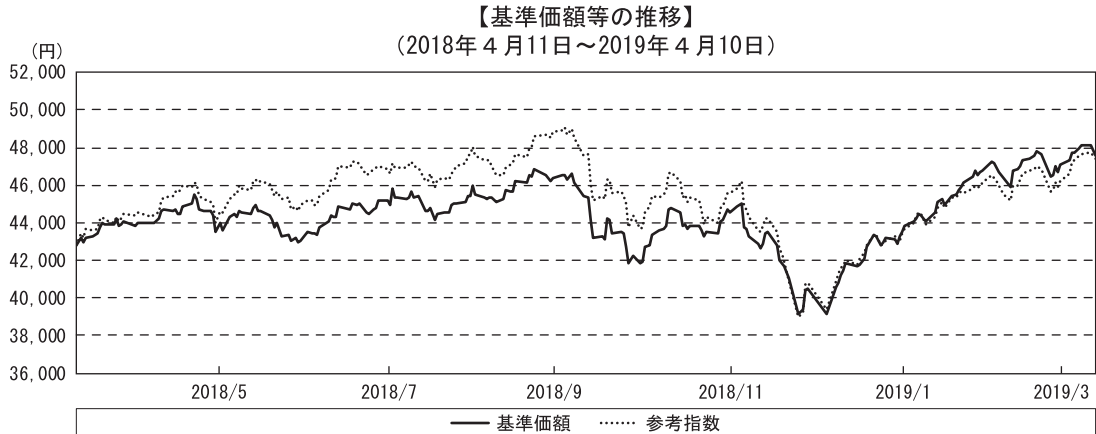
年 月 日	基準価額		参考指数		株式 組入比率	株式 先物比率
	騰 落	率	騰 落	率		
(期首)	円	%		%	%	%
2018年4月10日	42,766	—	287.66	—	98.6	—
4月末	44,069	3.0	299.23	4.0	97.7	—
5月末	43,986	2.9	300.27	4.4	97.3	—
6月末	43,076	0.7	302.38	5.1	96.9	—
7月末	44,924	5.0	313.72	9.1	98.3	—
8月末	45,529	6.5	319.81	11.2	99.1	—
9月末	46,410	8.5	328.76	14.3	97.4	—
10月末	42,698	△ 0.2	299.76	4.2	98.5	—
11月末	44,536	4.1	306.42	6.5	98.7	—
12月末	40,507	△ 5.3	274.68	△ 4.5	98.2	—
2019年1月末	43,500	1.7	292.32	1.6	99.1	—
2月末	46,724	9.3	308.98	7.4	98.6	—
3月末	47,060	10.0	311.07	8.1	98.0	—
(期末)						
2019年4月10日	47,544	11.2	318.89	10.9	99.3	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首42,766円から期末47,544円となりました。

(上昇)

- ・ 2018年11月、米中間選挙がほぼ市場予想通りの結果となり、目先の不透明感が和らいだこと、年末商戦が好調な滑り出しだったこと、FRB (米連邦準備制度理事会) が早期利上げ打ち止めを観測したこと、英政府とEU (欧州連合) が離脱案で合意したこと。
- ・ 2019年1月、市場予想を上回る米雇用統計が発表されたこと、米中貿易協議の進展が期待されたこと、FRBが金融引き締めにも慎重な姿勢を表明したこと、中国の景気対策期待が高まったこと。
- ・ 2月、米中貿易協議が進展したこと、米政府機関の再閉鎖回避への期待が高まったこと、トランプ米大統領が対中関税の引き上げ延期を表明したこと、ECB (欧州中央銀行) の新たな資金供給策が期待されたこと。

(下落)

- ・ 2018年6月、FOMC (米連邦公開市場委員会) で利上げが決定されたこと、金融引き締めスタンスの継続が強調されたこと、米中貿易摩擦への懸念が強まったこと。
- ・ 10月、米長期金利が上昇したこと、米中貿易摩擦への警戒感が増したこと、イタリア予算案を巡る同国とEUとの対立長期化への懸念が増したこと、ユーロ圏総合PMI (購買担当者景気指数) 速報値が市場予想を下回るなど景気の先行き不透明感が高まったこと。

- ・12月、カナダ当局による中国通信機器大手企業の幹部逮捕などを受け米中貿易摩擦懸念が再燃したこと、米景気減速への警戒感が増したこと、FOMC後に米国の利上げペースが市場予想ほど鈍化しないとの観測が高まったこと。

○投資環境

世界株式市場は、年末にかけ米中貿易摩擦が深刻化するという懸念が高まり大きく下落しました。年初からは、米中貿易摩擦の緩和期待やFRBの金融政策緩和期待、中国の景気刺激策に対する期待が高まったことを背景に大きく上昇し、期を通じては上昇となりました。

為替市場では、期を通じて、円は米ドルに対して概ね下落（円安）、ユーロに対して上昇（円高）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針を元に当期間は以下のような運用を行いました。

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

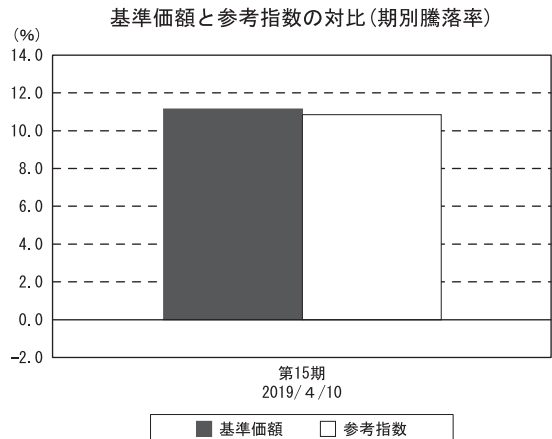
- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行うことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリング」と「上下水道ビジネス」を中心に投資しました。
 - ②「装置製造・エンジニアリング」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却した一方で、不安定な市場環境の中でも利益成長が期待できる企業に投資しました。
 - ③先行き不透明な環境が続く中で、ディフェンシブ（景気に左右されにくい）性の高い「上下水道ビジネス」の組入比率を高位に保ちました。
 - ④米国の汚染制御機器などの株式を組み入れたほか、米国の電子計測機器メーカーなどの株式を買い増しました。一方で、日本の住宅関連用品製造会社などの株式を全売却したほか、日本の農業用機械製造会社などの株式を一部売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の10.9%の上昇に対し、基準価額は11.2%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしておりません。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

世界のマクロ景気は世界の経済成長の不透明感により揺るがされています。グローバル企業の2019年の利益成長は、2018年の増益ペースに比べ減速すると予想されていますが、グローバルでのGDP成長率見通しは2018年並みの水準とされています。そのため、企業の価格決定力に対して引き続き確信を持っており、足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは割安な投資機会を与えるものと考えます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行う水関連銘柄のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

こうした環境の中、引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用を行っていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年4月11日～2019年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 11 (11)	% 0.026 (0.026)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	5 (5)	0.012 (0.012)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	22 (21) (1)	0.049 (0.047) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	38	0.087	
期中の平均基準価額は、44,418円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年4月11日～2019年4月10日)

株式

		買 付		売 付	
国		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 13	千円 38,571	千株 136	千円 260,305
外	アメリカ	百株 1,610 (354)	千米ドル 8,489 (-)	百株 2,539	千米ドル 10,848
	カナダ	40	千カナダドル 127	65	千カナダドル 211
	イギリス	1,079 (△ 11)	千英ポンド 1,306 (△ 63)	839	千英ポンド 731
	スイス	14	千スイスフラン 594	3	千スイスフラン 152
	スウェーデン	-	千スウェーデンクローナ -	1,038	千スウェーデンクローナ 9,040
	デンマーク	39	千デンマーククローネ 1,099	20	千デンマーククローネ 662
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	- (-)	- (△ 19)	292	898
	イタリア	-	-	779	222
	フランス	161	242	768	1,069
	オランダ	42 (5)	134 (8)	206	304
	オーストリア	4	19	22	105
	香港	200 (9,490)	千香港ドル 92 (5,610)	9,270 (5,331)	千香港ドル 6,938 (1,196)
	韓国	53	千ウォン 408,662	20	千ウォン 177,374
	メキシコ	- (-)	千メキシコペソ - (△ 53)	1,433	千メキシコペソ 2,909
ブラジル	83	千リアル 458	227	千リアル 1,063	
チリ	1,559	千チリペソ 58,305	108	千チリペソ 3,943	

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年4月11日～2019年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	3,611,062千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,988,567千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.45

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月11日～2019年4月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	1,380	—	—	2,230	8	0.4

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2,097千円
うち利害関係人への支払額 (B)	13千円
(B) / (A)	0.6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2019年4月10日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
化学 (一%)				
積水化学工業	26.5		—	—
金属製品 (一%)				
LIXILグループ	50.6		—	—
機械 (39.0%)				
クボタ	82		35.4	57,064
電気機器 (61.0%)				
堀場製作所	14.1		14.1	89,394
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	173	49	146,458
		4	2	<1.8%>

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS IN	231	173	469	52,239	建設関連製品
AGILENT TECHNOLOGIES INC	3	129	1,051	116,949	ライフサイエンス・ツール/サービス
AMERICAN STATES WATER CO	162	128	892	99,261	水道
AMERICAN WATER WORKS CO INC	352	352	3,684	409,719	水道
AQUA AMERICA INC	594	583	2,130	236,916	水道
CALIFORNIA WATER SERVICE GRP	192	176	898	99,963	水道
CANTEL MEDICAL CORP	77	76	522	58,145	ヘルスケア機器・用品
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	1,142	1,468	1,528	170,023	水道
DANAHER CORP	305	289	3,812	423,996	ヘルスケア機器・用品
DONALDSON CO INC	—	146	754	83,857	機械
ECOLAB INC	110	138	2,513	279,551	化学
FLOWSERVE CORP	327	213	1,015	112,949	機械
FORTERRA INC	382	—	—	—	建設資材
FORTUNE BRANDS HOME & SECURITY INC	179	248	1,230	136,777	建設関連製品
IDEX CORP	71	83	1,294	143,930	機械
MASCO CORP	192	195	787	87,569	建設関連製品
MUELLER WATER PRODUCTS INC-A	495	—	—	—	機械
PARKER HANNIFIN CORP	26	16	291	32,469	機械
PERKINELMER INC	177	117	1,190	132,438	ライフサイエンス・ツール/サービス

銘柄	株数	株数	当 期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
POOL CORP	—	20	337	37,503	販売	
REPUBLIC SERVICES INC-CL A	190	190	1,508	167,717	商業サービス・用品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	50	44	1,537	170,955	コングロマリット	
SITEONE LANDSCAPE SUPPLY INC	144	69	403	44,868	商社・流通業	
SMITH (A.O.) CORP	266	234	1,259	140,095	建設関連製品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	120	103	2,864	318,520	ライフサイエンス・ツール/サービス	
TORO CO	252	246	1,728	192,207	機械	
TRIMBLE INC	208	268	1,073	119,374	電子装置・機器・部品	
VALMONT INDUSTRIES	83	49	637	70,878	建設・土木	
WASTE CONNECTIONS INC	332	273	2,395	266,422	商業サービス・用品	
WASTE MANAGEMENT INC	188	228	2,317	257,739	商業サービス・用品	
XYLEM INC	408	396	3,155	350,936	機械	
PENTAIR PLC	359	393	1,540	171,313	機械	
小 計	株 数 ・ 金 額	7,633	7,058	44,831	4,985,292	
	銘柄 数 < 比 率 >	30	30	—	< 62.5% >	
(カナダ)			千カナダドル			
STANTEC INC	544	519	1,675	139,768	専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	544	519	1,675	139,768	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.8% >	
(イギリス)			千英ポンド			
HALMA PLC	—	113	199	28,920	電子装置・機器・部品	
PENNON GROUP PLC	1,680	1,788	1,288	186,942	水道	
SEVERN TRENT PLC	793	816	1,575	228,543	水道	
UNITED UTILITIES GROUP PLC	1,104	1,425	1,163	168,802	水道	
FERGUSON PLC	207	—	—	—	商社・流通業	
FERGUSON PLC	—	227	1,181	171,364	商社・流通業	
ROTORK PLC	2,228	1,873	563	81,806	機械	
小 計	株 数 ・ 金 額	6,015	6,243	5,970	866,380	
	銘柄 数 < 比 率 >	5	6	—	< 10.9% >	
(スイス)			千スイスフラン			
GEBERIT AG-REG	34	45	1,875	208,494	建設関連製品	
小 計	株 数 ・ 金 額	34	45	1,875	208,494	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 2.6% >	
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ			
ALFA LAVAL AB	325	199	4,297	51,611	機械	
HUSQVARNA AB-B SHS	911	—	—	—	家庭用耐久財	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,237	199	4,297	51,611	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	1	—	< 0.6% >	
(デンマーク)			千デンマーククローネ			
NOVOZYMES A/S-B SHARES	126	145	4,614	77,391	化学	
小 計	株 数 ・ 金 額	126	145	4,614	77,391	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.0% >	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
GEA GROUP AG	234	—	—	—	機械	
BRENNTAG AG	173	115	538	67,431	商社・流通業	
小 計	株 数 ・ 金 額	407	115	538	67,431	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	1	—	< 0.8% >	
(ユーロ…イタリア)						
HERA SPA	2,883	2,103	678	84,921	総合公益事業	
小 計	株 数 ・ 金 額	2,883	2,103	678	84,921	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.1% >	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	価額	
(ユーロ…フランス) VEOLIA ENVIRONNEMENT SUEZ	百株 1,202 1,463	百株 1,012 1,046	千ユーロ 2,058 1,251	千円 257,669 156,706	総合公益事業 総合公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,665 2	2,058 2	3,309 —	414,376 <5.2%>
(ユーロ…オランダ) ARCADIS NV AALBERTS INDUSTRIES NV	180 246	— 266	— 854	— 107,028	建設・土木 機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	426 2	266 1	854 —	107,028 <1.3%>
(ユーロ…オーストリア) ANDRITZ AG	132	114	462	57,926	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	132 1	114 1	462 —	57,926 <0.7%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,516 8	4,658 6	5,844 —	731,684 <9.2%>
(香港) CHINA EVERBRIGHT INTL LTD GUANGDONG INVESTMENT BEIJING ENTERPRISES WATER GR	10,250 9,268 21,548	11,259 7,308 17,588	千香港ドル 9,086 10,713 8,442	128,842 151,920 119,711	商業サービス・用品 水道 水道
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	41,066 3	36,155 3	28,242 —	400,475 <5.0%>
(韓国) WOONGJIN COWAY CO LTD	156	189	千ウォン 1,734,354	169,099	家庭用耐久財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	156 1	189 1	1,734,354 —	169,099 <2.1%>
(メキシコ) GRUPO ROTOPLAS SA DE CV	1,433	—	千メキシコペソ —	—	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,433 1	— —	— —	— <—%>
(ブラジル) CIA SANEAMENTO MINAS GERAIS	450	305	千リアル 1,922	55,468	水道
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	450 1	305 1	1,922 —	55,468 <0.7%>
(チリ) AGUAS ANDINAS SA-A	11,764	13,215	千チリペソ 504,266	84,414	水道
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	11,764 1	13,215 1	504,266 —	84,414 <1.1%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	76,977 55	68,735 52	—	7,770,081 <97.5%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2019年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	7,916,540	96.1
コール・ローン等、その他	317,212	3.9
投資信託財産総額	8,233,752	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産 (7,792,654千円) の投資信託財産総額 (8,233,752千円) に対する比率は94.6%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.20円、1カナダドル=83.40円、1英ポンド=145.10円、1スイスフラン=111.19円、1スウェーデンクローナ=12.01円、1デンマーククローネ=16.77円、1ユーロ=125.20円、1香港ドル=14.18円、1ウォン=0.0975円、1リアル=28.85円、1チリペソ=0.1674円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,235,335,424
コール・ローン等	305,262,625
株式(評価額)	7,916,540,319
未収入金	1,583,512
未収配当金	11,948,968
(B) 負債	263,167,371
未払金	3,166,570
未払解約金	260,000,000
未払利息	801
(C) 純資産総額(A-B)	7,972,168,053
元本	1,676,788,192
次期繰越損益金	6,295,379,861
(D) 受益権総口数	1,676,788,192口
1万口当たり基準価額(C/D)	47,544円

(注) 期首元本額は1,902,827,096円、期中追加設定元本額は166,299,468円、期中一部解約元本額は392,338,372円、1口当たり純資産額は4,7544円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Bコース 1,330,320,411円
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Aコース 346,467,781円

○損益の状況 (2018年4月11日～2019年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	160,347,872
受取配当金	159,932,282
受取利息	379,952
その他収益金	132,613
支払利息	△ 96,975
(B) 有価証券売買損益	724,085,875
売買益	1,183,850,670
売買損	△ 459,764,795
(C) 保管費用等	△ 4,017,291
(D) 当期損益金(A+B+C)	880,416,456
(E) 前期繰越損益金	6,234,884,501
(F) 追加信託差損益金	565,640,532
(G) 解約差損益金	△1,385,561,628
(H) 計(D+E+F+G)	6,295,379,861
次期繰越損益金(H)	6,295,379,861

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。